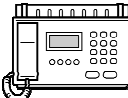


第三地区まちづくり（住民自治）協議会だより

■第17号 平成23年12月6日

■発行 第三地区まちづくり（住民自治）協議会

心の準備もないままに、その電話はかかってきます！
年末年始忙しい あなたに！  防犯安全部会

新手法の「キャッシュカード等受取型の振り込め詐欺」を紹介

厚生労働省の者ですが、後期高齢者の関係で還付金があります

●●銀行の者ですが、振込の手続きができない状態です

警察本部（〇〇警察署）の者ですが、サギの犯人を捕まえたらあなたの情報があった

●●市役所の〇〇課の者ですが、お金が戻るので、手続きする必要があります

金融庁の者です。あなたの口座が危ないので、手続きをしてください



信じて

数人でこれらを組み合わせる場合があります

実際に男が家を訪問して、キャッシュカード・通帳をだまし取って、すぐに預金額すべてを引き出します

他人事ではありません
あなたを狙っています

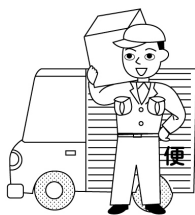
権堂町交番情報

被害額・11月上旬現在

中央署管内	16件	3,000万円
県下	82件	1億2,000万円

対応策

- カード、通帳は渡さない
- 暗証番号を教えない
- 口座の1日の利用限度額を下げる
- 電話がかかってきたら、一旦切る
- 官公庁に事実確認をする



ドアロックして！
車上狙いが・多発



協議会役員研修報告(10月13日~14日)

東北震災地の現状等視察

東北自動車道に入ると「この先 震災復旧」の立て看板が立っており、片側二車線のうち中央分離帯側の一車線の補修工事が行われており、しばらく渋滞が続いた。高速道から見て、遠くの土地ではバックホーなどの土木機械が入っており道路や建物と思われる復旧作業が行われていた。



この先震災復旧

○塩釜地区の震災地に入ると、津波の被害と思われる未だ復旧に手がつかない建物や処理されていないガレキや車両が山積みになっていた。



山積みの車輛

○この土地に住んでいた方々のふるさとは「やっぱり、ここがいい」と帰省を待ち望んでいることを思うとき、長野には津波が無いけれど、防災とは「自分と家族と大切な人を守るために何をすべきか」と防災対策に思いを巡らせた。

○東北地方に3月義援金を送り、今回はわずかではあるが使用することで復興に寄与した。

環境美化部会研修報告(11月10日~11日)

研修目的 「長野市ポイ捨て等を防止し、ごみのないきれいなまちをつくる条例」がH23.4.1施行されたことから、先進的な取り組みを実施している松戸市の事業について学ぶ。

1 ポイ捨て防止対策に関する松戸市の取り組みについて研修

講師：松戸市生活安全課 鈴木克己課長 外

○松戸市の条例の経過と概要

H16.4.1 「松戸市安全で快適なまちづくり条例」施行

H16.6.1 重点推進地区の指定(主に駅周辺)

H17.6.1 過料徴収実施

H20.4.1 重点推進地区追加指定



松戸市役所にて

松戸市では平成16年に取り組みを始め、タバコ等のポイ捨てを禁止し、さらに重点推進地区内の公共の場所では指定場所以外で喫煙すること自体も禁止している。指導監視員がパトロールを行い、違反者にはその場で過料(2,000円)を徴収する。指導監視員は警察OBで休日や夜間も活動している。

○過料処分者の推移

年度	H20	H21	H22	H23(10月末現在)
過料処分者	1,039人	939人	875人	780人

減少傾向に
多いのは20~30代の男性

路上喫煙者の割合はH17.5月1.56% → H23.8月0.17%と減少している。

2 考察

増税や健康志向により喫煙者自体が少なくなっている現状はあるが、取り組みに対する成果は路上喫煙者の割合に表れている。しかし、喫煙そのものが違法ではないので、条例で喫煙場所を指定しているのは喫煙する人の環境整備の側面もあると鈴木課長は話しておられた。中心市街地にある第三地区ではタバコ等のポイ捨てが多く見られるが、長野市の条例では罰則は規定されていない。市民ひとりひとりのマナーの向上が求められている。また、地区として普段からゴミ拾い活動を実施し、ポイ捨てさせない環境をつくっていくことが大切である。

